

長泉寺だより

真言宗 御室派 薬園山 長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方 3 丁目 10 番 40 号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

第 336 号



ウクライナ危機——大国には
大国の歴史、政治観がある。米
国、欧州ら西側諸国も決して潔
白ではない。しかし、だからと
いつて他国の領土、主権、何よ
り人命を強奪して良い理由には
全くならない。まして
や原発への砲撃や核
攻撃など狂気の沙汰
だ。犠牲者を悼み、早
期の停戦を祈ること
ひたすらである。

まるで半世紀前に
あった戦争が再現さ
れているかのような
事態であるが、注目し
たいのは過去のそれ
との違いである。テク
ノロジーに関することも然りだ
が、何よりは世界中の多くの
人々が「悪いのはロシアではな
く、プーチンだ」と、今回の危
機をとらえていることだろう。
現代を生きる私たちは、ソ連崩

新堂と国際平和

ひともし

壊後のロシアの人々との関わり
合いの中で、彼らの素晴らしさ
をよく知っているのだ。世界各
国が強烈な経済制裁をロシアに
かけているのだから、彼らにロ
シア国内から政治を変えて欲し
いという願いに近い。

国際平和を考える
とき、当然であるが政
治はその大事である。
しかし、平素の民間交
流がもたらす価値観
の共有や信頼の醸成
も、それに匹敵する力
があるのだ。

我が国も、明日は我
が身。隣国の政府との
関係がどうであれ、民
間の交流を怠ってはならない。
そして、そこさえ機能していれ
ば、いかなる政治的衝突がある
うとも、未来は必ず切り開ける。
今春、当山に建つ新堂には、そ
ういう大義がある。(龍)

本尊法楽 先祖供養

万灯万華供養 本尊大祭

5月5日・6日・7日 毎夜18時半～「万灯万華供養法要」

5月8日(日) 13時～16時 結願「中曲理趣三昧法要」

本尊厨子が開扉され 三日三晩 全九座の法要を奉修
回向塔婆 灯籠供養にて 檀徒各家精霊に回向を捧げます
5/8 結願には 岡山市内有縁の真言宗寺院様にご参集され
盛大な法要が執り行われます
どうぞお繰り合わせご参拝下さいませ

回向塔婆供養 二千元也/一本
灯籠供養 二千元也/一基
位牌供養申受け 三千元也/一基
※お位牌を本尊前に安置し 三日三晩 ご供養いたします

節分 星供養法会

二月三日、当山では毎年、百名を超える多くの皆さまにご参拝いただき、一年の厄除を祈願する「節分星供」を奉修しておりますが、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、昨年に続いて本年も一般ご参拝をお断りしての開催となりました。

通常は星供養法会のほか、釜^{かま}鳴護摩^{なりごま}、豆まき、獅子舞などを行う賑やかな催しとなるのです



が、去年、今年と、山内僧侶と総代のみにて、静かに星供本尊の真言を念誦し、施主皆様の厄除を祈願させていただいた次第です。来年こそは、子どもたちの元気な声、皆様の笑顔に包まれる節分を迎えられたらと願っております。

なお、当法会奉修に際しましてお供えいただきましたたくさんのお菓子は、社会福祉法人備作恵済会・児童養護施設「若松園」様に寄付させていただきます。

ご協力をいただきましたすべての皆様に御礼申し上げます。

涅槃会

二月十五日、「涅槃会」を迎えるにあたり、本堂に「佛涅槃図」、並びに『十六羅漢図』を掲げ、一座釈迦法を奉修いたしました。仏法との出逢いに感謝することひたすらであります。



東日本大震災十一年忌

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災より十一年となる今年、震災当時より被災地、被災者の支援を継続するRNN人道援助宗教NGOネットワーク（事務局黒住教）は、三月十一日に黒住経本部神道山御日拝所（岡山市北区尾上神道山）において「RNN東日本大震災慰霊祭」を開催。同ネットワー

クのメンバーである当山も参列しました。黒住教、天台宗ら諸宗教の祈りに続き、真言宗の法儀に則って犠牲物故者の菩提を祈念する「略土砂加持法」を奉修いたしました。

当慰霊祭は、同震災の満中陰忌に始まり、三月十一日に毎年欠かさず行われております。

また、翌三月十二日には、当山が事務局を務める「三・一一への祈り おかやま」実行委員会が「三・一一から未来へ 映画をみてSDGsを考えよう」を臨済宗妙心寺派蔭涼寺（岡山市北区中央町）にて開催。原発事故のあった福島を題材にしたドキュメンタリー映画『サマシヨール 遺言（第六章）』を鑑賞し、参加者と共にエネルギー問題や環境問題について意見交換しました。



3.11への祈り
おかやま

玉佛堂（八角円堂）建設状況

当山檀徒精霊の年忌法会を行う道場を新たに建立するため、昨年八月より行っている八角円堂、改め「玉佛堂」の建設工事が大詰めを迎えています。

二月末には瓦葺き工事が終わり、屋根の象徴である相輪が据え付けられました。内部は天井工事、床工事が終わり、今後最後の仕上げ部分、即ち白壁、建具、須弥壇、その他細部の施工となります。

またこの度、堂名が正式に「玉佛堂」という名前に決まりました。由来は、ご本尊となる尊像が、平成四年に中国洛陽市にあ



る白馬寺様より当山に請来された「玉佛釈迦牟尼如来像」にあります。四十年にわたる岡山市と洛陽市の友好姉妹都市交流の中で、当山と白馬寺も仏教交流を深めてきたわけですが、そのご縁において、平成四年当時の白馬寺方丈（管長）猊下であられた海法大師がお送り下さった尊像です。

また今回、白馬寺現方丈猊下であられる印楽師が玉佛堂落慶の記念として堂名を揮毫下さり、それは岡

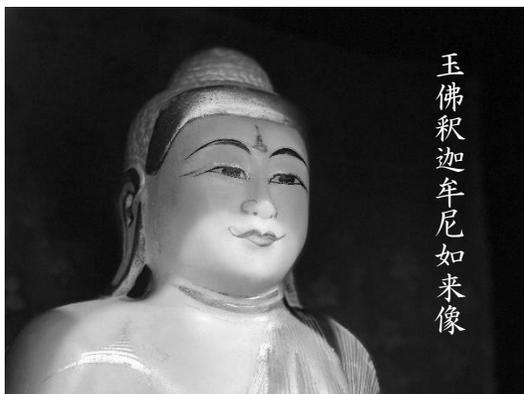
山名産の万成石（協力 西尾建設株式会社）にて堂前の石標に相成ります。

さらには、当山が長年にわたって支援を続けるインド仏教界最高指導者・佐々井秀嶺師（岡山県出身・インド名 Bhadant G Arya Nagarjuna Shurei Sasai）の御弟子で美術家でもある亀井竜亀師が、大乘仏教の祖・龍樹菩薩の聖地と云われるインド国ナグプール市マンセルの土を絵具に混ぜ、釈迦如来の象徴である白蓮華を本尊厨子に描いて下さることになりました。インド、中国、日本という仏教伝来三国の法縁がまさに相集った御堂となります。

玉佛堂

印楽

玉佛釈迦牟尼如来像



なお落慶法会につきましては、御堂の収容人数に限りがあるため、真言宗岡山市結衆御寺院に参列を仰ぐほかは、総代と関係者のみにて四月十八日（月）に執り行います。

檀信徒皆様には、四月二十一日（木）に奉修予定の「樂陽廟春秋祭」にてお披露目をさせていただきますので、どうぞ多くの皆様にお参りいただければ幸いです。

お彼岸って何だろっつ？

春と秋にはお彼岸が来ますが、本当は「来る」のではなく、渡って「行く」のがお彼岸です。

お彼岸は「向こう岸」ですから、舟に乗らなければ行くことができません。仏教が生まれた国インドの川は大きく、彼岸に渡れば別の国。橋は架からず、三つの途があつて、これがいわゆる「三途の川」の由縁です。渡るのが困難と言われる三途の川ですが、実際にインドは雨季、乾季で川の水量が全然違って大変です。

渡り舟には六つの種類があります。「六波羅蜜行」と呼ばれるもので、彼岸に渡るために積まねばならない六つ行のことで、「檀・戒・忍・進・禪・恵」の六種の行は、亡者の棺に入れる「六文銭」につながります。

このうち六番目の「恵」とは「智慧(般若)」のことで、『般若

心経』に説かれるところです。

そのお仕舞いに「ガーター、ガーター、ハーラーガーター、ハーラーガーター、ボウジソワカ」とあり、日本語では「行こう、行こう、みんなで行こう、悟りの岸辺へ、幸いなれ」といった意味となります。

お彼岸の期間というのは、普段は俗世(此岸)に住む私たちも、この時くらいは六波羅蜜行の実践によつて仏の国(彼岸)に行つたつもりで過ごしましょう、ということなのです。

また年忌法事を行う際の「十三佛信仰」というのは、彼岸に行つた先祖がこの世にもどつて来る機会が十三度ある、ということ。死後の四十九日忌までに七度、三十三年忌までに六度で計十三度。故人に対して、彼岸の国から時には無事に帰ってきて下さい、と家族親族が集つて年忌法事をするのです。

◆◆◆◆◆ 長泉寺文化教室のご案内 ◆◆◆◆◆

長泉寺合唱団 Naga (ナーガ) 練習日 毎月第1、2、4月曜 10時～12時
指導：佐々木英代先生 (ソプラノ歌手・指揮者) 月謝：2,500円

金剛流御詠歌 長泉寺支部御詠歌会 練習日 毎週火曜 10時～12時
指導：龍門住職 月謝：1,000円

御室流華道教室 毎月一回 約2時間
指導：林康風 (真言宗御室派行願院住職) 受講料 3,000円 + 花材費用

長泉寺写経会 毎月8日9時～10時半ごろ、毎月21日9時～10時半ごろ
参加費：300円 (用紙代、お供え、会費)
弘法大師縁日および本尊薬師如来縁日に本堂で写経を行い、仏前にお供えします。

長泉寺書の会 毎月一回 14時～16時 参加無料 (要事前申し込み) 用紙代別
指導：島村鐵二先生
古典を中心に臨書をしていきます。毎年秋の長泉寺文化祭へ出展いたします。

長泉寺将棋クラブ 毎月一回 13時半～16時 参加無料 申込み不要
檀信徒に限らず、どなたでも無料で参加いただけます。
お子さまの知育やご高齢の方の痴呆症予防に一緒に楽しみながらしましょう。

長泉寺 寺子屋文化講座 隔月一回 19時～20時半

◆◆◆◆◆ お気軽にお問い合わせください 086-223-7450 (長泉寺) ◆◆◆◆◆

貧困対策基金の設置

長泉寺ボランティア基金会は
この度、これまで行ってきた災
害被災者援助に加えて、貧困対
策にも取り組むことにしました。

七人に一人の子どもが貧困状
態である言われる現代日本です
が、そこへコロナによって経済
が停滞し、余裕のない家庭や個
人がさらに増えています。

今後、総代会で協議を深め、
当事者、及び貧困問題にとりく
む団体らと相談し、基金の有効
な活用を目指します。

ご協力をいただけます御方に
は、寺務所前の募金箱に浄財を
入れていただくほか、左記の口
座までお振込み下さい。

◇長泉寺ボランティア基金会◇
ゆうちょ銀行 総合口座

1546030539111

郵便局以外の金融機関から振込む場合

【店名】五四八 【店番】548

【預金種目】普通預金

【口座番号】3053911

長泉寺の縁日法会へ
どうぞご参拝ください

毎月 8日9時～ 本尊縁日法会
21日9時～ 大師縁日法会
" 10時半～ 法話
28日9時～ 不動縁日護摩供

ご参拝時には、健康状態をお確かめの上
マスク着用をお願いいたします

得度式

今月末、法縁熟しまして、当
山龍門住職の長男大悟(算十二
歳)、次男和弥(算九歳)が出家
得度式を迎えます。

仏弟子が護るべき戒を、名譽
住職の光研権大僧正から授かり
当山に晴れて新発意(新たに仏
門に入る志を發した者)が誕生
する運びです。

檀信徒の皆様方には、この法
縁をどうぞ共にお喜びいただけ
れば幸いです。

バカとは何ごとぞ

日本語と真言宗 名譽住職 光研

「バカ」は日本語で
はありません。馬と鹿
と書いて「馬鹿」ですが
これは当て字。本当は
インド語「薄迦(bh a
g aあるいはm o h
a)」からきています。

「仏弟子に周利槃特
という愚鈍がいて、箒をもたし
たら一日中掃除ばかりしていた
という。周りはバカ呼ばわりし
ていたが、彼は最後に悟りを開
く。」誰でも悟ることができる、
というたとえ話です。

「これでいいのだ!」といえ
ば天才!バカボンですが、実は
これもインド語「薄迦梵(bh
a g a v a t)」からきていて、



意味は実に

「毘盧遮那

佛」。即ち、真

言宗で一番

大事な仏、大

日如来の意味です。

ちなみに「阿保」も外来語で、

秦の始皇帝が無駄に巨大な宮殿

「阿房宮」を建てたところから

きている説や、中国江南地方の

方言「阿呆」が日明貿易で京都

に伝わった説、あるいはポルト

ガル語「アハウライウ」からき

ているという説などがあります。

また反対に「利口」はどうで

しょう。聡明、賢いという意味

では「伶俐」と書くのが本来で、

賢い中でも弁舌豊か、口先が上

手い、という意味を含んでいる

のが「利口」ですね。しかしそ

の語源自体は、言葉や声(口)

によって物事がすらすらと運ぶ

(利)というところからきてい

るそうですので、口先が上手い

だけでは利口とはいえません。

真言宗は「真の言の宗」と書

きますが、まさに「利口」でな

ければいけませんし、利口を実

践して薄迦梵に成るのですね。

続

永代供養 樂陽廟

春秋祭

—「玉佛堂」新築御披露目—

四月二十一日(木)午前十時〜於玉佛堂

今春 当山境内の樂陽廟前に

落成する「玉佛堂」にて

春秋祭を奉修いたします

有縁の皆様には

お繰り合わせご参拝下さいませ

洛陽白馬寺 賜りし

玉の石佛 釈迦如来

海法大師 ころろ映え

日中友誼の 証しなる

永代供養の 樂陽廟

おかげで建ちて 三十年

今ぞ圓堂 相輪の

輝く一重 塔と成る

檀徒市民の 靈安く

朝夕べに 永代経

中日佛教 常永遠に

玉佛釈迦尊 有りがたや

—「玉佛堂のうた」光研

玉佛堂 幟幡 奉納のご案内 限定十本

一本 五千元也 お問合せ下さい

いづみ ペーパーレス化

可能な御方に限り、『いづみ』のペーパーレス化にご協力いただいております。 ※すでにご登録をいただいたお方には感謝申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、下記アドレスまでお名前とご住所をご送信下さい。

idumi@chosenji.net

聞いても美味しい♪

岡山のラーメンとうどんのお話

4月11日(月) 19:00~20:30

於:本堂 参加無料・予約先着 25名限定

講師 石原正裕 先生 RSKディレクター

新型コロナウイルス感染症の流行状況によって延期になることがあります。事前にお問合せ下さい。

長泉寺 寺子屋 文化講座

Vol. 35

一月延期分

長泉寺ホームページをぜひご利用下さい ⇒ <http://www.chosenji.net>
住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます